



はなみずき

令和元年度 / Let's talking together!

みんなで語ろう会 特集号



小林小学校区



南小学校区



西小林中学校区



細野中学校区



三松中学校区



野尻地区



東方中学校区



永久津中学校区



須木地区

市内9地区で市民の皆さんと意見交換会を実施しました！

- | | | | |
|----------|--------|-----------|---------|
| ■ 小林小学校区 | ・・・ 2頁 | ■ 永久津中学校区 | ・・・ 7頁 |
| ■ 南小学校区 | ・・・ 3頁 | ■ 西小林中学校区 | ・・・ 8頁 |
| ■ 細野中学校区 | ・・・ 4頁 | ■ 須木地区 | ・・・ 9頁 |
| ■ 三松中学校区 | ・・・ 5頁 | ■ 野尻地区 | ・・・ 10頁 |
| ■ 東方中学校区 | ・・・ 6頁 | | |

※特集号では「市民の意見」をピックアップして掲載しています。詳細については小林市ホームページをご覧ください。

南小学校区

3班

鎌田 豊数議員 前田 隆博議員 貴嶋 憲太郎議員
内ノ倉 利春議員 森田 哲朗議員 大迫 みどり議員

廃プラスチックの処理について

- 区・組未加入者へごみの出し方のルールを周知してほしい。
- 未加入者へのごみの出し方のルールの周知について当局に伝える。
- 不法投棄が後を絶たず困っている。対策はないか。
- 雑木を刈り取り、見通しを良くすれば無くなるのではないか（参加者からの提案）。
- 不法投棄は違法。生活環境課に申請すれば不法投棄禁止の看板を立ててくれる。
- 以前は不法投棄パトロールとして、道路上に投棄されたごみの回収をシルバー人材センターや業者に委託していた。現在は予算の削減により、通報を受けてから回収している。
- 高齢者や障がい者に対して、ごみ分別やごみ出しの負担軽減をしてほしい。
- 市がふれあい収集（個別収集）を行っている。清掃工場に電話して申請するようになってくる。

防犯灯について

- 安全灯と防犯灯の違いは何か。
- 設置・管理・電気料負担において、安全灯は市であり、防犯灯は区・組である。
- 防犯灯の電気料を組2世帯で負担しているが軽減できないか。
- 区で負担している地域が多いので、区長に相談してみてもどうか（区長も会場にいたので、対応する旨の回答をいただいた）。
- 市は区・組の負担軽減のために、防犯灯の半分を市が管理する安全灯に切り替える準備を進めている。これにより区・組の電気料が半額となる。
- 防犯灯の電気料を市で全額負担できないか。
- 全額負担は今後の課題として、委員会等で十分討議し、地域の意見を伝えていく。



自由意見

- K-ITTO小林のビルの指定管理料および運用状況はどうなっているか。
- まちづくり(株)が指定管理者であり平成30年度の指定管理料は年額約1,275万円。利用申請件数は156件、利用者は3,949人、無料利用者は約32万人、利用料金は約207万円となっている。利用者が増えるような運営方法を当局に要望していく。
- 4月号から広報こばやしが見にくくなった。
- 白黒の文字や写真などが増えたせいかと思われる。見やすくなるように地域の意見を伝える。



◎広報こばやし

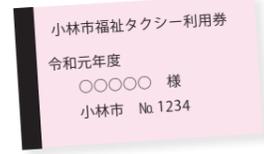
小林小学校区

1班

時任 隆一議員 三好 彰範議員 舞田 重治議員
原 勝信議員 西上 隆議員 溝口 誠二議員

市民が利用しやすい地域交通のあり方について

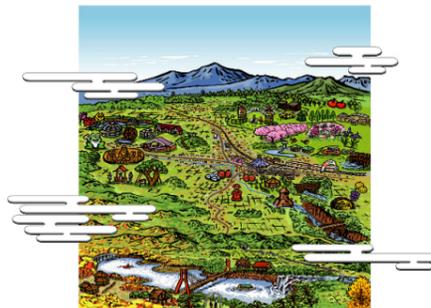
- 福祉タクシー利用者は、近隣と遠方では利用する距離に差があり、不公平感がある。使い勝手のよいタクシー券は考えられないか。
- 地域の実情を考えたコミュニティバスの運行はできないかを考えてほしい。
- コミュニティバスについて、市内にある4業者（福祉タクシー業者、宮交、三和、こばやし交通）で協議・検討することはできないか。
- 現状の改善等、委員会等でも十分討議し、地域の意見を伝えていく。
- コミュニティバスは利用者が少ない。利用者の多い時間帯への変更はできないか。
- 無駄のない運行等、委員会等でも十分討議し、地域の意見を伝えていく。



◎小林市福祉タクシー利用券

まちづくり協議会について

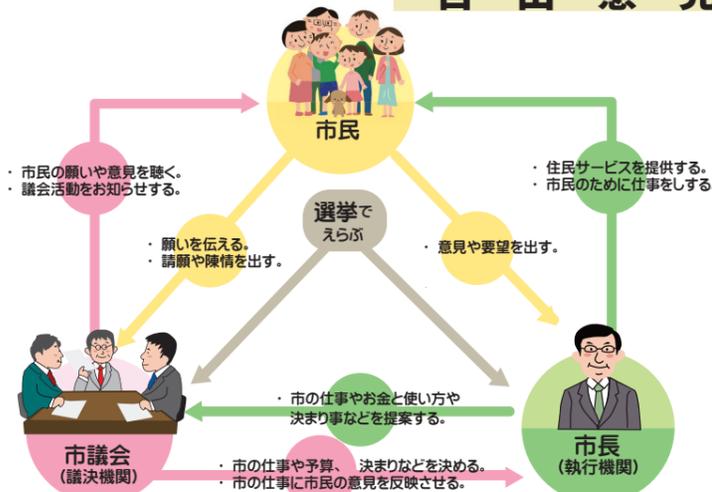
- これまでまちづくり協議会が設立された地域に、市はどれくらい予算を出したのか教えてほしい。小林小学校区にはどのくらい予算を出す予定か。
- 事務費と運営費で合わせて年間約500万円だが、小林小学校区は区も人数も多いのでまちづくり協議会のあり方を当局と協議してほしい。
- 市のほうから提案してほしい。こちらから相談したわけではない。まちづくりの基本、30年後のあるべき姿を行政が理想とする方向性を示してほしい。
- 方法はいろいろあると思う。行政が理想とする方向性を示すよう議員間でも討議し、地域の意見を伝えていく。



◎30年後のあるべき姿とは？

自由意見

- 議員も含めて長期ビジョンを考える「市民と行政の語らいの場」を設けるべき。
- まずは知ったり、知らせたりということが大事。一朝一夕にはいれないが、市民と行政、議員の果たす役割はそれぞれ重くなってきている。



◎市民・市議会・市長の関係

市民が利用しやすい地域交通のあり方について

■ 市民の意見
議員の意見

■ 政策の実施に当たって、地域の実態に即したサービスが必要では。特に高齢化の進んだ地域は限定したサービスが必要ではないか。限られた財源を有効に使うためには、一定の基準を設け、高齢化率によってサービスを拡大していくこともこれからの政策には必要ではないか。

■ 今後はそのようなことも必要になってくる。委員会等でも十分討議し、地域の意見を伝えていく。



■ 福祉タクシー券の利用範囲（同じ敷地内に家族など送迎ができる人がいれば、利用はできない。）について、家族が仕事に出ている時に突発的に外出が必要となる場合があった場合、利用できるようにならないか。

■ 家庭の実情に配慮した形で、利用範囲は改善されている。委員会等でも十分討議し、地域の意見を伝えていく。

地域福祉の推進について

■ 福祉関連の申請、相談の窓口がわかりづらく、利用しにくい。都市市はわかりやすいパンフレットがあり便利である。小林市も作ってほしい。福祉のあり方については当事者を含めて考えてほしい。障がい者の思いが伝わらない。

■ 障がい者団体等と意見交換をしながら、委員会等でも十分討議し、地域の意見を伝えていく。



自由意見

■ 県内企業が高校生に職場体験をさせたところ、県内に残ったということを県の広報紙で知った。小林市も雇用の場を確保するため、企業誘致ができないか。

■ 高校生との意見交換会を実施したが、一人ひとりそれぞれ夢を持っていった。市外に出てUターンできるような雇用の場を確保するためにも、企業誘致で経済を縮小させないよう地域の意見を伝えていく。



空き家対策について

■ 市民の意見
議員の意見

■ 空き家対策の窓口を一本化できないか（※空き家バンクは地方創生課・空き家対策は管財課）。

■ 管財課と地方創生課は部署が隣同士のため、趣旨は異なるが同時に対応することが可能である。現在、空家等対策計画策定の中で相談しやすいように窓口を一本化できるよう進めているところである。

■ 市民も空き家バンク制度を利用できるようにするにはどうか。市外から通勤する教職員の方等に開放する空き家対策もあるのではないか。

■ 移住者促進のための制度であり、今のところ市外からの移住者が対象となる。出された意見は委員会等で十分討議し、地域の意見を伝えていく。



廃プラスチックの処理について

■ 小林市は長年かけてリサイクル率を上げてきた。市としてできるだけ廃プラスチックリサイクルを推進してほしい。

■ 小林市のリサイクル率は68・1%であり、全国トップクラスの先進地でもある。廃プラをリサイクルすることにより、最終処分場の延命化にもつながっている。高齢者や障がいのある方にも配慮し、ラップ類・チューブ類・小袋類については、燃やすごみとして扱うことになったが、基本的には、洗えるものは洗って廃プラとしてリサイクルするのが理想である。

■ トレイは洗っても汚れが落ちないものもあるが、廃プラとして出してもよいのか。



◎生活環境課からのお知らせ

自由意見

■ 区・組加入プロジェクトを進めているが、防災、防犯を含めて条例化できないか。

■ 意見や立場の違いなどで相手を疎外することなく、それぞれの状況に感じながら協力することが必要である。当局でも区・組加入促進プロジェクトチームを設置し、検討中である。

■ 乗合タクシーのルートが点と点になっていて使いにくい。もっと利用者が増えるよう研究してほしい。

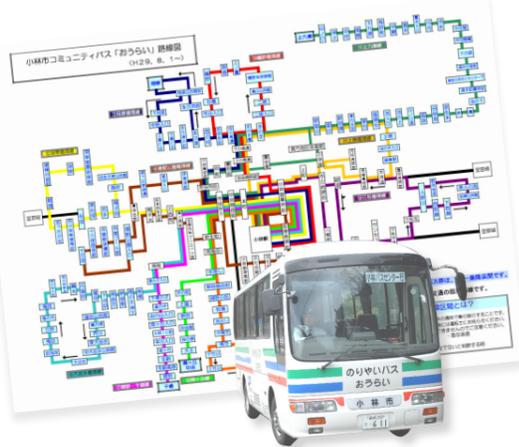
■ 現在、1日当たりの乗合タクシーの利用者数は0.2人である。様々な意見があり、市民の交通手段の確保について、委員会等で十分討議し、地域の意見を伝えていく。

■ 免許証返納に伴い、公共交通を充実してほしい。

■ 地域公共交通網形成計画の中で盛り込むよう委員会等で十分討議し、地域の意見を伝えていく。

■ 廃プラとして出してもよい。清掃工場において、丁寧に選別されており、小林市の廃プラは高い評価を得ているところである。

市民が利用しやすい地域交通のあり方について



■コミュニティバスの利用について、目的地や経由地になりそうな場所を増やせば、もっと利用者が増えると思う。買い物ついでに立ち寄れる「茶飲ん場」のような場所を設けてみてはどうか。

■空き家も増えてきており、そのような場所を利用した「茶飲ん場」のようなものが増えてくることはいいことだと思う。市民の方々の交通手段の確保に向けての新しい判断材料になるのではないかと。いろいろな方法を委員会で話し、地域の意見を伝えていく。

市民の意見
議員の意見

空き家対策について

■空き家を取り壊したら費用がかかる。補助金はないのか。

■現在、小林市空家等対策計画を計画中であり、2020年までに補助制度の検討を行うこととなっている。

■空き家を更地にしたら固定資産税が上がるのではないかと。

■今後、当局から税率について広報される。更地にした場合は宅地の面積にもよるが、固定資産税が2倍〜3倍程度になる。個別の税額については税務課に相談いただきたい。

■高齢者の1人世帯が多く、空き家は確実に増えていく。市の目標値に疑問がある。

■小林市空家等対策計画では空き家の現況値を1,418件としている。今後、空き家は右肩上がりが増加することが予想される。随時データベース化され対策がなされていく。これにより常時の空き家目標値を約1,400件に抑えるように設定している。

市民の意見
議員の意見

小・中学校の現状と課題について



◎無料Wi-Fi市内46か所は以下からダウンロードできます。



■児童・生徒の登下校時に地区体育館に見慣れない車が停まっている。小林市Free Wi-Fiを利用していただくのではないかと。張り紙等の注意喚起や、見回りなどの対策を行っていただけないか。

■(体育館の所管である)スポーツ振興課に対して張り紙等ができないかなど要請は行っていく。また駐在所の警察官にも見回りをしていただくようお願いをしたい。防犯上、夜間はWi-Fiが切れるようになっていく(災害時は切り替わる)。

市内北部地域の活性化について



◎三之宮峡ウォーキングMAP

■北部地域の活性化協議会を立ち上げ、関係機関にいろいろな要望を出したところである。三之宮峡の遊歩道を整備してほしい。

■道路拡張の計画はあったが、法務局の字図と現況が合わず、用地買収において所有者が特定できずに頓挫した。平成18年〜19年に県の集落整備事業でL字擁壁の工事を実施し、現在の形となっている。

area 05

自由意見

■8月の第1日曜日に道路愛護デーを行っている。実施月は県の条例に則ってやっているが、市の単独事業として正月前に道路清掃を計画できないか。予算も伴わないので取り組んでもらうよう、議会の方からも要請をお願いしたい。

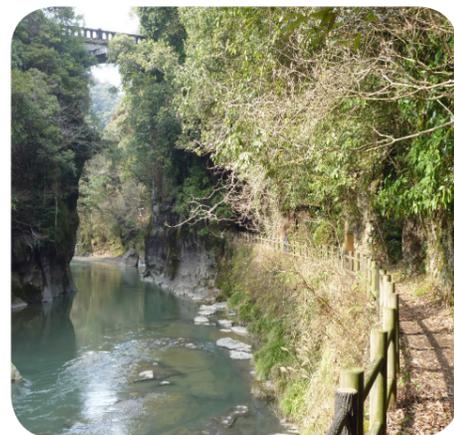
■市としては年1回計画している。そのほかの実施については各地域において行うということを基本にすべきであると思うが、出された意見は委員会等でも十分討議し、地域の意見を伝えていく。



■4年前の防災訓練で要避難介助者の避難を援助できる体制を構築することであったができていないのか。

■要支援者の避難連絡体制の現状と改善・支援策を当局に一般質問等で質問したい。

自由意見



◎三之宮峡を流れる岩瀬川

■東方地区体育館から橋満線にかけてシラスが流出している。自転車通学する生徒は危険である。早急に対処してほしい。

■整備予定であり、測量が終わった段階である。今年度は実施設計に取り組みることとなっている。

■養豚施設のし尿が岩瀬川に流出しているが調査しているのか。

■水質検査では問題はなかった。清流が維持できるように議会でも注視していく。

須木地区

西小林中学校校区

小・中学校の現状と課題について



■小・中一貫教育については、保護者、地域住民、行政での合意形成が必要。また、校舎の建て替えについては、財源の問題もあり、市の公共施設の長寿命化計画の中で検討される。廃校活用については、今までも一般質問等で提案している。旧内山小学校の体育館は耐震化されていないので使用できない。廃校活用、そして学校の複合した利活用も含めて議員間で討議していく。

■児童・生徒数の減少に歯止めがきかない。小・中一貫教育を実現し、校舎の建て替えができないか。また、地域コミュニティの拠点としての活用など、複合した利活用による学校のあり方も検討してほしい。

■小・中一貫には賛否あり、PTAだけでは決断できない。地域との協議が必要。また廃校になった校舎の利活用についても考えていく必要がある。

避難場所



◎小林市の指定緊急避難場所は以下からダウンロードできます。



小・中学校の現状と課題について

■校舎の老朽化による建て替え等、まちづくり協議会でも検討しているが、まずは保護者の意見集約が先である。

■小・中一貫校への考え方は。

■小・中一貫校、校舎建て替えに関して、PTA含め地域への説明及び情報提供を行うように地域の意見を伝えていく。

■西小林地区は地区体育館が防災拠点であり、避難所となっているが、建物が非常に古く、不安である。避難所で被災したら、逃げる場所がない。喫緊の課題として市に伝えてほしい。

■令和2年度に策定する長寿命化計画に盛り込まれるということを当局から聞いている。内容については委員会等でも調査していく必要があると考えている。

地域の課題について



◎小野湖でのSUP体験

■奈佐木の公民館は避難所になっているが、裏に山があって危険箇所になっている。そこに消防団詰所もある。豪雨の際、危険ではないか。

■避難所・消防団詰所については、議員間でも討議し、地域の意見を伝えていく。

■須木は人口が減少し、少子高齢化が急激に進んでいる。若い人たちの流出を止められない状況にある。観光客もあまり増えていない。須木の活性化計画を立てるよう行政に働きかけてほしい。

■現在、小野湖を中心とした観光振興に力を入れている。観光客誘致など須木地域の活性化について、地域の皆さんの意見も聞きながら議員間でも討議していく。

空き家対策について



◎空き家バンク制度の案内チラシ

■空き家を解体するのに200〜300万円ほどかかるが高くて払えない。

■解体して更地にする固定資産税が上がるのではないか。

■現在策定中の空家等対策計画に生かせるよう委員会等で十分討議し、当局へ提案していく。

■高齢化が進んでいる。地域の話し合いの場として空き家を集会所に改修できないか。

■所有者を含め、地域の方々から、様々な意見が出てきているので、いろいろな方法を委員会等でも十分討議し、地域の意見を伝えていく。

自由意見



◎新軍谷トンネル（隧道）

■廃プラスチックごみの分別方法が変わり、周知も遅く混乱した。また、ちょっと汚れたものが入っているとシールが貼られて回収されない。ふれあい収集についても広く利用できるような条件を緩和してほしい。

■急な変更で周知が遅れたことについて議論した経緯がある。ごみ収集について、今後問題が生じないように議会でも議論していく。

■新軍谷トンネルの上の国有林が伐採され、崩れないか不安である。植林はどうなっているか。

■2年前に伐採され、一部は植栽している。3年以内に実施するようになっていく。

自由意見



◎市では「不法投棄禁止」「犬のふんの後始末」などの看板（無料）を用意しています。

■県道53号線の改良を急げないか。

■今後の改良計画ではえびの市側の道路改良が終了し次第、開始する予定となっている。

■議会としても、県に要望を行っていく。

■ゴミの不法投棄に関して連絡が付かない民有地に投棄する人がいる。監視カメラなどの取り付けはできないか。

■生活環境課でパトロールを実施しているので、随時連絡してほしい。

市民の意見
議員の意見

市民の意見
議員の意見

area 08

area 07

■ 高校生のバス料金3万円程度の助成について、市内に通学している高校生が限定であるが、宮崎方面へ通学している高校生はなぜ対象外なのか。

■ 議会でも幾度となく一般質問で質問している。9月議会では「市外の高校への通学生を対象とすると、市外高校への入学を助長することになり、一部定員割れをしている市内高校の状況を考えると、市内での経済活動等与える影響も大きいと考えられるため、現時点で市外高校への通学費補助は考えていない」との答弁であった。

■ 福祉バスを野尻地区から市立病院まで行くよう検討してほしい。市民は乗り換えで暑い中長時間（1時間以上）待つことになる。

■ 宮崎交通との競合路線のため走れない。宮崎交通との交渉も含めて委員会等でも十分協議し、地域の意見を伝えていく。

市民が利用しやすい地域交通のあり方について

■ 消防協力会費は地域ごとに格差があり不公平である。市の方で徴収できないか。消防団の出動費も差があるのではないか。

■ 報償費と出動費はどこも同額である。組は自主的な組織であるので話し合いが基本である。法で強制することができない。地域で協力費としてもらっているところもある。まちづくり協議会の中で、そういう事業について、予算を使う検討を行っているところもある。

■ 先般の避難指示に対する避難者が出たが避難所には座卓が2つだけであった。椅子や高机は畳が傷むとの職員の説明があった。足の痛い高齢者が多いのにもう少し何とかできないか。寝具は本人準備とあるが最低限のものは準備できないか。当局に強く改善を求める。



日頃からの備えを

地域の課題について

■ 公立保育園の民営化の話があるが、進捗状況や内容について教えてほしい。

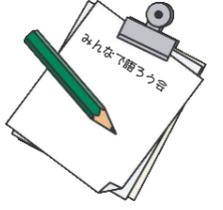
■ 保育園の市営・民営はそれぞれ良さや特徴がある。保護者説明会があり、住民説明会も必要となるかもしれない。その後公募になる予定である。民営化について賛成も反対もある。今後、保育の質が問われる。



■ 語ろう会であるので、もう少し議員の思いを話してほしい。メッセージの内容が多い。

■ 意見交換会の充実を目指して、引き続き広報広聴委員会でも協議を行い、努力したい。

自由意見



令和元年度みんなで語ろう会を終えて

今年5月から広報広聴委員長の任を仰せつかっております竹内龍一郎です。

「みんなで語ろう会」は今年で6回目を数え、市民の皆さまと議会との意見交換の場として取り組んでおります。きずな協働体設置地区（未設置地区を含む）ごとに市内9か所でテーマを決め、会を実施して参りました。

各地区からは、市民の皆さまからの行政に対する率直な意見や要望等、また市民の暮らしの状況なども報告されました。議会は、市民と行政のパイプ役として重要な役割を果たさなければならぬと認識したところです。

また、開催するに当たり反省点や課題も見えてきました。一つ目は、参加者が全体で179名、1会場当たり約20名と少ない。二つ目には参加者が固定化してきている。三つ目は、女性の方が少ない。これらのことからして今後は、開催場所や日時・曜日・時間帯・内容など反省材料や検討課題を検証して、より多くの市民の皆さまと意見交換できる身近な「語ろう会」となるように進めたいと思います。

広報広聴委員長 竹内 龍一郎

分野別意見交換会に参加してみませんか。



教育・文化・福祉・産業などの分野で結成されたグループと議会の所管の委員会が、それぞれのテーマに基づき意見交換会を実施します。
※10人以上のグループや団体に限らせていただきます。

例えば・・・

PTA団体、〇〇会議青年部、ボランティア団体、保育園のお母さんグループ、〇〇保存会など

■手続き方法

(1) 意見交換を希望するグループ・団体は、議会事務局まで申請書をご提出ください。

(申請内容)

- ・団体・グループの代表者名と連絡先
- ・意見交換したいテーマと趣旨
- ・開催日時の希望など

(2) 申請の受付終了後、議会内で所管の委員会の決定、日程等について協議し、日時の決定を行います。



申請書は左記よりダウンロードできません。議会事務局にFAX、電子メールにてご提出ください。電話での受け付けも行っております。

E-mail: k_gikai@city.kobayashi.lg.jp

お詫びと訂正

令和元年11月1日発行の「はなみずきNo.51」に一部内容の誤りがありました。ご迷惑をお掛けしましたこととお詫びするとともに、次のとおり訂正いたします。

9 ページ
三好 彰範議員 一般質問

【訂正前】
答 指定管理者の三和交通との間では



【訂正後】
答 委託業者の三和交通との間では

〇議会への提言・疑問・質問などお寄せください。

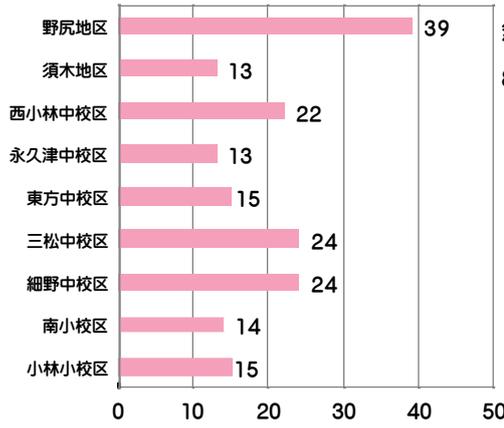
Blank lines for writing comments or questions.

〇今回の「はなみずき」で関心のある記事や感想があればお書きください。また、もっと読みたくするような「アイデア」があればお寄せください。

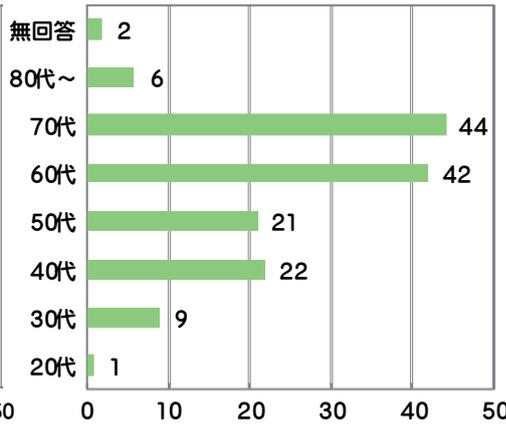
Blank lines for writing comments or ideas.

みんなで語ろう会アンケート調査結果

参加者数 (人)

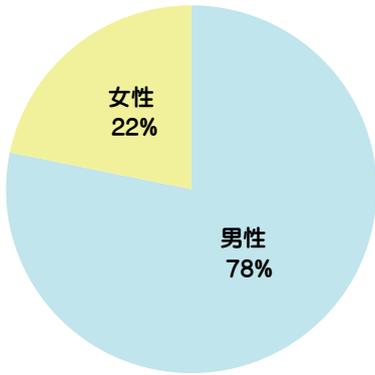


年齢 (人)

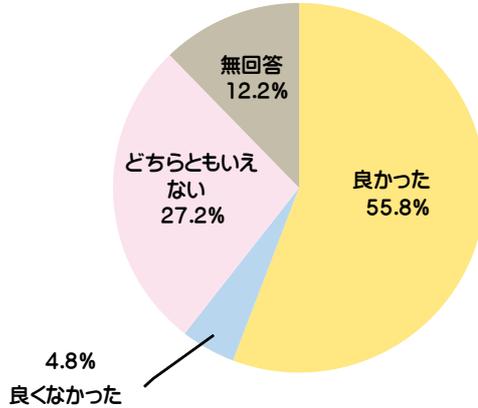


地域	参加者	アンケート回収	アンケート回収率
小林小校区	15人	15	100%
南小校区	14人	13	93%
細野中校区	24人	15	63%
三松中校区	24人	19	79%
東方中校区	15人	14	93%
永久津中校区	13人	12	92%
西小林中校区	22人	22	100%
須木地区	13人	9	69%
野尻地区	39人	28	72%
総数	179人	147	82%

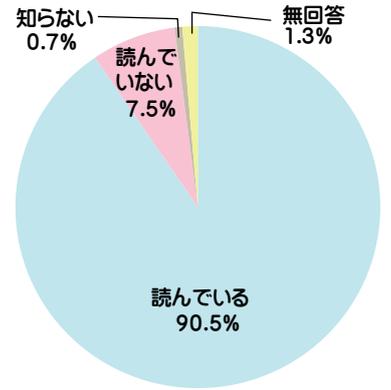
参加者の割合



意見交換会の評価



はなみずきについて



意見交換会の評価

「良かった」という方の意見

- 市政に対して、意見や提案を直接伝えたいという市民の思いを少なからず、実現できている非常に貴重な会であると感じた。
- 市民の意見を聞いてくれることは、市民と議会の距離感を縮めることになる。
- 地域の問題点を知ることができて、参加してよかった。
- 自分の思っていることを伝えて、考えていただける機会になったと思う。

「良くなかった」「どちらともいえなかった」という方の意見

- 市民で小林市をどう考えて、どうしていきたいかを一緒に(若い人の考えも)、もっと話し合うことが大切だと思う。
- もっと人が集まっているかと思った。少なくてビックリした。
- いろいろな意見が出てすごくよい会なのに、もっといろいろな人が参加していけるようにしてもらいたい。
- 意見交換会というよりは、質疑応答会となってしまう。

自由意見

- 時間が限られている中ご苦労様です。もう少し頻度を増やしてほしい。直接意見をいえる機会をもっと増やしていただきたい。
- 「みんなで語ろう会」をもっとPRし、参加者が増えるようにしたらよいのでは。
- アウトラインは市がつくるもの。それに対して意見・改善点を出すのが市議会だろうと思いますが、先に市民の意見といってもなかなか出ないのではないだろうか。

切り取ってお出してください

料金受取人払



差出有効期間
令和3年7月24日まで
(切手を貼らずにお出してください)

郵便はがき

886-8790

(受取人)

小林市細野300番地

小林市役所 議会事務局

広報広聴委員会 行

(はなみずき 2019.11.15 特集号)



ふりがな
ご氏名

※「はなみずき」に掲載させていただく場合に、イニシャルやペンネームをご希望される場合はご記入ください。

□□-□□□□

ご住所

お電話 ()-()-()